

相談指導部門

担当 金 成海

留学生センターが2002年4月発足以来、指導相談部門は一人体制で行った。留学生センターには英語、中国語、韓国語が話せるスタッフが多数いることで、日本語のできない留学生とのコミュニケーションには不自由はない。徳大に在籍中の留学生だけではなく留学生の家族、外国人研究者および学外の徳大入学希望者から相談が増えている。常三島地区は常時相談できる体制であるが、蔵本地区には常時事務員一人と火曜日午後と金曜日午後には教員一人が加えて対応している。また、メールでの相談も対応している。

留学生の交流の場として常三島地区には工学部の留学生相談室「OASIS」、総合科学部の「たより」が設置されており、さらに2004年4月からは蔵本地区の「留学生支援室」が設置された。各部屋にはインターネット接続の数台のパソコンやOA機器などを整備され、母国の情報収集や母国との連絡可能な環境が整った。また、2006年4月からは日亜会館に入居している留学生のため、あらたに留学生センター2階のフロアにパソコン6台、プリンター2台、テーブル、応接セットなどを設置した。

また、2006年度から2007年度まで帰国留学生へのフォローアップ及び帰国後の情報収集のため、中国、韓国、アメリカおよび日本国内などを訪問し、卒業留学生追跡調査を行った。多数の卒業留学生と面会し、今後の情報交換の手法及び留学生同窓会組織構築についても意見交換を行った。

相談内容：

- 学習関係： 進学、指導教官との関係、就職など
- 生活関係： 奨学金、アルバイト、居住、保証人など
- その他： ビザ、交通事故、トラブル、人間関係など

留学生受け入れ支援活動など：

2006年4月～2007年3月

- 4月 外国人留学生のためのオリエンテーション
- 6月 卒業留学生のデータベースを構築
- 7月 外国人学生のための進学説明会2007 大阪

- 9月 日韓共同理工系学部留学生説明会 韓国（ソウル）
11月 多文化交流会の開催
1月～2月 卒業留学生追跡調査 （中国）
3月 卒業留学生追跡調査 （アメリカ）
随時、工学部、総合科学部へ入学希望者の学歴認定調査を実施。

日韓共同理工系学部留学生受け入れ 担当

日韓共同理工系留学生は韓国国内および日本国内でそれぞれ半年間の日本語教育と専門予備教育が必要のため、工学部と連携しながらカリキュラムデザイン、担当教員の依頼、日本語予備教育の時間割の調整などを行う。平成16年度には工学部生物工学科が1名、平成18年度には工学部電気電子工学科が1名を受け入れている。